

兵庫県保険医協会 北阪神支部 職員接遇研修会

ケーススタディで学ぶ 患者さんとの接遇

○日時 4月18日(土) 15時～17時

○会場 いたみホール・中ホール

(伊丹市宮ノ前1-1-3 ☎072-778-8788)

○講師 マネジメント・コンサルタント 松田 幸子先生

○参加費 1000円 ※「医療安全管理対策研修会」の受講証を発行します

○定員 100人(先着順)

医療機関においては、個々の職員の対応によって医院への信頼やイメージが創られるため、患者さんとの接遇やコミュニケーション能力の向上が強く求められます。

北阪神支部では、数多くの企業研修等でご活躍の松田幸子先生をお招きし、実際に医院に起こりがちなケーススタディから、接遇の基本やクレーム・電話などの対応についてお話いただきます。

新人職員の方だけでなく、中堅、ベテランの方も日頃の業務を見直す機会として、ぜひご参加下さい。

●お問い合わせは、

TEL: 078-393-1807 (小西・横山・小川) まで



・お車の方は、市営宮ノ前地下駐車場をご利用ください。

(切り取らずに送信ください) 【FAX返信】 078-393-1802宛

●職員接遇研修会に申し込みます

兵庫保険医協会北阪神担当行

お名前	職種	経験年数

地区 医療機関名 代表者名
TEL () - FAX () -

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2015年 2月25日号 No. 245

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

新春政策研究会「医療・介護総合法とこれからの医療」

患者を医療・介護から遠ざける



医療・介護総合法の全体像を詳しく解説後
今後の影響について活発な意見交換を行った。

北阪神支部は1月31日、宝塚市・明月記で新春政策研究会を開催。協会政策部の西山裕康副理事長が「医療・介護総合法とこれからの医療」と題して講演した。西山副理事長は、十分な審議時間も確保されないまま、医療法・介護法など関係19法案が一括して改悪された「医療・介護総合法」の問題点を解説。

「医療・介護総合法」により、病床機能の報告制度を利用して、地域の医療需要の将来推計を盛り

込んだ地域医療構想が策定されることを説明し、さらに「その構想に基づいて、各医療機関に対し急性期病床の削減が、知事の権限によって半ば強制されることになる」と指摘した。

また、介護保険制度では、要支援者の介護予防給付を介護保険から外して市区町村による地域包括支援事業へ移管し、ボランティアやNPOを活用することなどが決まったが、「各市区町村では、担い手確保の見通しが立たず、150万人に影響が出るとされている」とした。また、特養に入居できるのが原則「要介護3」以上に限定されるなど、社会保障費削減のために、病院・施設から在宅へ、患者・利用者をおいやりとしていると解説した。

さらに政府が、財源確保とモラルハザードの防止を口実に、患者負担増計画を次々と打ち出していることについて、「低所得者・病弱者の受診抑制や診療遅延を生む政策にこそモラルがない」とし、協会「ストップ患者負担増」署名の取り組みを紹介、5万筆目標の達成に向けてさらなる協力をよびかけた。

研究会後は温かい鍋を囲んでの恒例の懇親会を行った。

社会保障をよくする伊丹の会

社会保障政策の充実を求める

ー自治体キャラバンで市当局と懇談

「社会保障をよくする伊丹の会（伊丹社保協、会長・小泉勇支部幹事）」は 1 月 27 日、伊丹市役所会議室で第 5 回自治体キャラバンを開催。社保協加盟団体から 14 名が参加し、国保、介護、生活保護など市の社会保障施策の充実を求め、市担当者らと意見交換した。回答の要旨は下記の通り。



伊丹市担当課に市民生活の現状と社会保障の改善を直接訴えた

国民健康保険事業運営は引き続き厳しい状況が続くと予測している。今後、会計収支の悪化が予想されるため、保険税の引き下げは難しい。

【後期高齢者医療制度保険料の減免について】

社保協：2017 年から 75 歳以上の「保険料減免の特例措置」が廃止予定だが、伊丹市で特例措置を受けている人数はどれくらいか。高齢者にとって支払いがますます困難になっているもとでは、伊丹市において独自の減免措置をとることが必要であると思うがどう考えられるのか。

伊丹市：保険料減免の特例措置を受けているのは、2014 年 12 月 29 日時点で 8336 人であり全体の約 4 割にあたる。法律上、伊丹市が独自に減免措置を講じる権限は持っておらず、保険者である広域連合にその権限がある。広域連合内では、減免措置の廃止に伴い、保険料の支払いが困難となった場合の対応についての議論は行われていない。

【介護保険制度について】

社保協：訪問介護・通所介護利用者数はいくらか。また認定者のどのくらいの割合になるのか。これらの要支援者の介護に関して、介護保険からはずそうとしているが、これは介護保険制度の破たんではないか。

伊丹市：訪問介護利用者は、ひと月あたり 2014 年度 745 人、2013 年度 748 人。通所介護の利用者は 2013 年度 748 人、2013 年度 835 人。要支援認定者の約 3 割がこれらの制度を利用している。介護保険事業計画を現在策定しており要支援者の介護予防に関してはボランティアや N P O を活用し、地域支援事業が担っていく計画だが、あくまで介護保険制度の枠組みの中で実施していく。現在受けているサービスと同水準の利用を継続するために独自で利用料を支払わなければならないなど、介護保険制度からはずれるような結果にはならないはずだ。

【国民健康保険について】

社保協：2013 年度の伊丹市国保会計は、保険料を値上げしながらも、予想以上に医療費が低く抑えられたことで 3.2 億円の黒字となり、法定外繰り入れを含めると、8.7 億円の黒字とのことだった。値上げした保険料を引き下げることは考えられないのか。

伊丹市：高齢化の進展や、医療技術の高度化による医療費の増加、被保険者の減少による影響など、国保財政に与える不安要素が多く存在しており、国



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せ下さい。

TEL 078-393-1801 / FAX 078-393-1802 e-mail junki@doc-net.or.jp 担当；横山まで

＊お知らせ＊ ■兵庫県保険医協会のホームページは

<http://www.hhk.jp/>



＊生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、おトクで安心な共済制度のご紹介、日々の協会活動のご報告を掲載しております。

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451



< 2月のテーマ >

月曜日 市販の点眼薬の正しい使い方
火曜日 子どもが「お腹が痛い」という時
水曜日 家庭血圧測定的重要性
木曜日 前立腺がんを早期発見しましょう
金土日 薬局で薬を買うときに気をつけたいこと

< 3月のテーマ >

月曜日 輸血製剤と献血
火曜日 乳歯のむし歯と歯並び
水曜日 ケガした時の RICE (ライス) 処置
木曜日 声のかすれ
金土日 五月病という病名はあるか

第 330 回幹事会だより

1 月 3 1 日 (土) 宝塚市雲雀丘倶楽部 会議室 1

◆北阪神支部の会員数と組織率

1 / 3 1 現在 医科 3 2 7 人 (7 2 %)、歯科 1 7 5 人 (5 4 %)

◆当面の支部活動

4 月 18 日 (土) 職員接遇研修会 (案内 4 面)

「ケーススタディで学ぶ患者さんとの接遇」

講師 マネジメント・コンサルタント 松田 幸子 先生

会場 いたみホール・中ホール 15 : 00 ~ 17 : 00

参加費 1000 円 (医療安全管理対策研修会の受講証を発行します)

5 月 30 日 (土) 医院経営セミナー (近日詳細案内予定)

「スタッフ定着のポイント (仮)」

講師 桂労務社会保険総合事務所 桂 好志郎 先生

以上を開催予定

お問い合わせは TEL 078-393-1807 小西・横山・小川まで